



本部

年次報告	193
本部	193
経営管理部	194
人事部	195
東部グループ	197
地域密着型通所介護 「デイサービス いちご学校」	197
サービス付き高齢者向け住宅 「イチゴいちえ」	198
診療実績・業務実績統計	199
部署責任者一覧	200
職員数一覧	200
委員会	200
業績一覧	200

本部



1 目標

仁生会の将来を模索するために、最新の経済情報や医療情報の収集に努め、仁生会の全ての施設がコミュニケーションを緊密にして、和を大切に、常に前向きに思考できる環境を整える。同時に、経済的にも余裕をもって運営できる方向性を探る。

- ①各病院ごとの収支を明確に出して、問題点などを分析できるようにする。
- ②各施設からの要望や本部の考えをまとめ、優先順位をつけて計画を策定する。
- ③昨今の経済状況により、広がりを見せているエコ対策にも積極的に力を入れると同時に、固定費の削減を目指す。
- ④本部の各部長、課長の共通認識を確かめ、仁生会の発展に寄与する。

2 人事異動

瀬良 佐知子 パート勤務継続

3 総職員数

15名

4 定期会議

(1) 本部会

毎週水曜日の8時半から運営会議

メンバー：細木秀美理事長、金子忠司人事部長、門脇弘幸経営管理部長、石元恵津財務課長、細木膺子本部長

- ①各部長、課長より、経営、運営上の現況や計画および問題点などの提案、理事長の指示や情報提供に即応して、運営の方向性を討論する。
- ②昇給、賞与の試算など、仁生会全体の各種会合に提案する試案について検討する。
- ③各病院長の意向を踏まえ、将来に向けての企画やそのタイムスケジュール、財務上の問題点など、運営上の全般的な計画や考えをまとめる。
- ④本部の各部長の毎年の報告にあるように、しっか



本部長 細木 膺子

りした各部署の運営方針の下、職員の皆さまのご尽力とご努力により運営されるように援助する。

- ⑤本部の各部長が共通の認識を持って、目標に向かって行動できる下地を作る。

- ⑥今からの仁生会『I M A J I N』というネーミングで、盤石な経営基盤の確立のために活動する。各病院間のより一層の連携構築を図る。

(2) 試算表の検討会

毎月の各病院の収支と年度末の収支報告の検討などを行う。

5 ナウレッツビギンの執筆

10数年前から職員の毎月の給与明細書と共にお配りしている簡単な時事などの小文章で、主たる幹部の職員が順次執筆している。

6 税金や給与などの処理、各種管理

毎月の税金、役員報酬、職員給与や月末資金繰りの押印、行政への提出書類の捺印、賞与の資金繰り、月末の支払いのコンピューター処理、出張旅費、イベントなどの出金、仁生会の実印や銀行印など全ての管理を行う。

7 マザーグースの会

仁生会の常勤医の奥さま方の親睦会で、年1回、昼食を取りながら、お互いに仲良く会話を楽しんでいたき、ご主人の働きやすい環境を整備して、内助の功を発揮していただいている。今回は堀見忠司院長緑夫人のデビューとなった。なお、奥さま方への出欠連絡については医局の先生方にお世話になっている。

8 危機管理室

他の部署との連携を図り、病院や施設を見回ったり、トラブルの解決や未収金の対応には経営管理部長と力を合わせ精力的に活動いただいている。相談しやすい頼りがいのある部署となっている。最近では、個人的な相談もあるようである。

9 仁生クラブ

退職した元職員と現職員との交流会である仁生会ク

細木病院

細木ユニティ病院

三愛病院
あうん高知

日高クリニック

本部

アドレス・高知

福寿園

積善会

ラブ総会・懇親会を毎年開催している。平成28年度は、9月10日（土）に細木病院の高行記念講堂で開催した。「じんせい」で振り返る仁生会のトピックスをパワーポイントで説明。病院見学やミニコンサートもあり、OBは昔の職場の変化に驚かれ、また喜んでいただいている。

⑩ その他

① 仕事始めを本部職員とお屠蘇で祝う。4月の入社式に参列。8月のよさこい祭りでは、練習への差し入れ、仁生会創立70周年の記念に衣装を着て理事長と地方車に乗せていただいた。11月3日の第2回細木

病院グループ職員作品展覧会の文化交流会で茶席を担当。元職員の助けや男性による点前は昨年1名が今年は2名となり、患者さまや職員の皆さまとも楽しい交流を持つことができた。

② 経営改善できなかったほそぎ東部クリニックのみの9月末閉院を決断した。

③ 昭和61年から1年間の仕事納めとして取引銀行の支店長と本部で親交を深めることが恒例になっている。このしきたりは、細木高行前理事長時代から半世紀以上ずっと続いているもので、最近では支店長ほか数名の部下も来られ賑わっている。



経営管理部

① 概要

経営管理部の組織は仁生会本部に所属し、部長、顧問、課長、事務員3名の合計6名で就業している。経営管理部は、財務課および経営管理課の二課体制で、経営管理課に危機管理担当室を設け、警察OBの顧問が在籍し、蓄積した経験と見識でクレーム対応を行っている。

細木病院が平成25年度から四万十町大正診療所に医師を派遣し、社会医療法人としての要件が取得できたことから、平成27年4月1日付で特定医療法人から社会医療法人へ認定となり、平成28年度は社会医療法人としての第2期の決算となった。平成29年4月2日以降の決算期（仁生会では平成30年度決算）から医療法改正への対応で外部監査や内部統制が必要となり、今後はより一層公共性が求められることから、社会医療法人にふさわしいレベルの高い体制を構築していきたい。

② 活動内容

（1）医療コンサルタントの導入

将来の仁生会の体制や黒字体質への基盤作りのため、平成28年9月から平成29年2月まで（株）日本能率協会総合研究所に依頼し、提言を受けた。この提言に対し、平成29年4月以降、理事宮地事務局長（細木病院事務部長兼務）を中心としてワーキンググループを立ち上げて対応することとなった。

（2）総会の開催

平成28年5月および平成29年3月に定例総会を開催し、事業計画や収支予算の決定等の承認を得た。また、平成28年8月に臨時総会を開催し、ほそぎ東部クリニックの閉院（平成28年9月30日）の決議を行い、高知県に報告を行った。

（3）実績検討

① 各施設の収支などを取りまとめ、各施設の月別試



算表作成後、各施設へフィードバックを行った。

② 細木病院、細木ユニティ病院、三愛病院は、毎月開催される経営会議に経営管理部長が出席し、損益計算書に基づき、当月実績と予算および前年実績との対比の説明を行い、現状認識を確認した。

③ 附帯業務の部門別収支の検証

在宅部門の大部分が税務署の判定する収益事業となるため、部門別損益を作成し、税務申告を行う必要がある。よって、作成した部門別損益表を今後の運営に生かすため、各施設にフィードバックした。

④ 延滞未収金の取り組み

平成23年9月に制定した「延滞未収金マニュアル」の活用が各施設担当者に浸透してきており、件数・金額とも年々減少傾向にある。

イ. 上期と下期に各1回各施設から報告を求め、対策を協議して注意喚起を行った。

ロ. 延滞対象者によっては当部も参加して交渉を行い、分割での回収実績ができた。

（4）会計制度変更への準備

現行の会計は、平成16年改定前の病院会計準則で行っていることから、平成29年度決算より医療法人

会計基準へ変更する準備を行った。

【主な変更点】

- イ. 医業収益、医業費用、医業利益などは、事業収益、事業費用、事業利益に勘定科目の変更を行う。
- ロ. 控除対象外消費税の費用部分は特別損失から当期総事業費用に入るように変更を行う。
- ハ. 委託費（科目区分）の中に検査委託費、給食委託費など勘定科目を配置する。
- 二. 経費を設備関係費と経費に分割し、より科目内容が理解しやすい配列とする。

（５）外部研修会への参加

主催団体・開催月	研修会名	参加人数
高知法人会（８月）	経理の実務でほどこ講座	1名
高知法人会（９月）	税制改正研修会	1名
高知税務署（11月）	年末調整説明会	2名
日本社会医療法人協議会（２月）東京	経理規程に関する研修会	1名
御堂筋監査法人（３月）大阪	病院経営者のために「会計監査」と「内部統制」	1名

③今後の課題

- （１）平成30年度決算から医療法改正に対応するため、平成29年10月頃に監査法人と外部監査についての契約を締結する予定である。このためにも、定款変更や経理規程など各種規程を作成する必要がある。
- （２）平成29年４月以降も経営コンサルタントを導入し、組織体制の変更や中期計画の策定など将来の仁生会の経営基盤を構築する必要があり、積極的に関与していきたい。

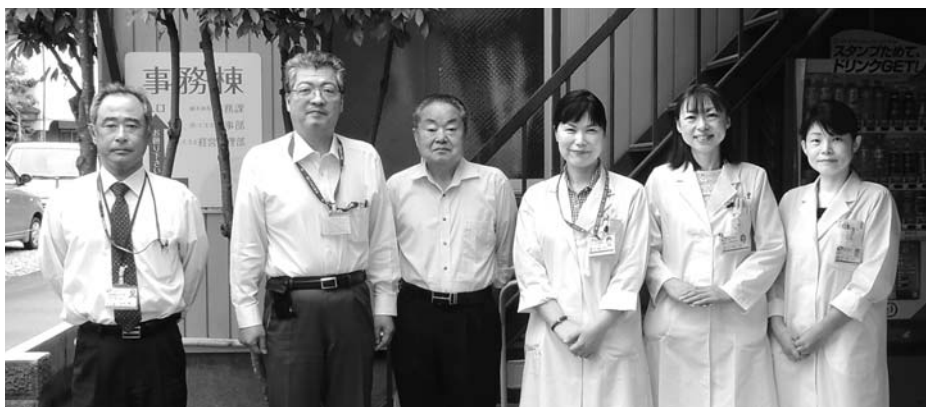
（文責：経営管理部長 門脇 弘幸）



人 事 部

①概要

人事部は、人事部長 金子忠司、人事課・庶務課（兼務）主任 濱田洋子、広報課主任 木下浩一、人事課 坂本義廣、庶務課 西田江見（細木病院 司書業務と兼務）、川村美保子（人事課・庶務課 兼務）、の6名体制である。



②活動内容・目標に対する達成状況

（１）人事課

【１】採用人事

看護職の定期採用については、奨学生が3名と少なかったため十分ではなかった。そのために、中途採用に頼らざるを得なかった。また、看護助手・介護職についても産休・育休による長期休職者や離職者の補充が適時にできないことがあった。現場に負担をかけることが多かったことを反省している。

新規学卒者や中途採用者の採用試験、奨学生の採用面接並びに採用事務や入社式の運営に当たった。

【２】トータル人事制度の運営

- ①人事制度検討委員会開催 年12回開催
- ②人事制度説明会 4回開催
- ③昇格試験について

平成28年度の昇格者の内訳は、等級別に次のとお

りである。E 6→E 7 3名、S 5→E 6 3名、S 4→S 5 2名、J 3→S 4 29名、J 2→J 3 16名、J 1→J 2 1名であった。

【３】平成28年度教育研修関係

①教育委員会活動

教育委員および事務局として、新採用者研修会、中途採用者研修会、5年目職員研修会、10年目職員研修会、集合教育を開催した。

②管理職研修会

平成28年度は、高知大学医学部附属病院 看護部 副看護部長 多田邦子氏を講師に迎え、講演「コーチングについて」と人事考課の評価方法と採点方法の説明（人事部）を行った（参加者人員138名）。管理職研修会欠席者に対しては、ビデオ学習を含めた代替研修を行った（参加人員19名）。

【4】ボランティアの受け入れとまとめ

ボランティア受け入れ一覧

ボランティア活動部署	団体(延べ)	個人(延べ)	活動内容
ポピー病棟	—	8	花壇の手入れ コンサート マジックショー
デイサービス さくらんぼ	6	30	朗読、紙芝居、アロマ マッサージ、韓国料理、 フラダンス、コンサート、 メイクアップ

【5】旧：土佐看護専門学校に関する事務

卒業証明書 8 件、成績証明書 8 件 合計16件

【6】細木病院ヘルパー養成講座（平成11年度～平成

14年度開催）に関する事務

修了証明書再発行 5 件

（2）庶務課

【1】出版活動・次世代育成支援事業活動

①年報の作成

2015年度仁生会の年報を750部作成し、関係各位に配布した。仁生会創立70周年記念事業として、仁生会のオリジナルクリアファイル2,000枚を作成した。

②次世代育成支援事業

平成28年度は高知県より、4期目になる「高知県次世代育成支援企業認証」の認証更新ができた。また、平成28年度から創設された高知家「出会い・結婚・子育て応援」フォーラムにて、「子育て支援部門 優秀賞」を受賞した。

（3）広報課

【1】広報業務

①情報誌「じんせい」の編集、発行（毎月1回）

②パンフレットなどの作成

仁生会細木病院グループ、ドクター紹介、細木病院、細木病院入院案内のパンフレットを更新

し、発行した。

③新聞や各種媒体への広告掲載

④職員向けエッセー「ナウ・レッツ・ピギン」の編集、発行

⑤職員名刺作成

⑥仁生会年報編集委員

【2】事務局業務

①仁生会広報委員会 毎月第2水曜日開催

②仁生クラブ（仁生会・積善会職員OB会）

入会案内、会計管理および総会・懇親会の開催（平成28年9月10日）

③日本病院会高知県支部

総会（平成29年1月29日）および講演会（平成28年9月3日、平成29年1月28日）の開催。講演会については、高知県5医療団体（高知県医師会病院部会、日本病院会高知県支部、全日本病院協会高知県支部、日本医療法人協会高知県支部、日本精神科病院協会高知県支部）で共催した。

③今後の課題

①採用人事については、医師、看護師および看護助手・介護職員を確保すること。

②次世代育成事業およびワークライフバランス推進事業においては、施設間や部署間での施策実施の平準化を図ること。

③職能等級制度から役割等級制度への転換を細木病院以外の施設に実施すること。

④昨年度から人事管理システムが新しくなったが、新人事制度に対応した等級・号俸および退職金ポイントの管理ができるようにシステム整備を行っていくこと。

これらの課題解決に取り組むことにより、仁生会の健全な発展に貢献したい。

（文責：人事部長 金子 忠司）



地域密着型通所介護「デイサービス いちご学校」

1 概要

管 理 者：上西 恵美子

構成職員：管理者・生活相談員	1 名
看護師・機能訓練員	3 名
介護福祉士・生活相談員	2 名
介護福祉士	1 名
介護職	2 名
理学療法士	1 名
作業療法士	1 名
合計人数	11名

2 活動内容、目標に対する達成状況

(1) 看護、介護の専門性を高め利用者のニーズに対応したケアが提供できる。

○院内外の研修に自主的に参加することで自己研鑽に努め、専門的知識を深める。

各自が自主的に研修に参加し、伝達講習することで専門的知識を得ることができた。

○ケアカンファレンスで個々の利用者の情報共有を行い、統一したケアを実践する。

定期的なケアカンファレンスはできていないが、報連相ノートを活用し情報を共有できた。

(2) 在宅での自立した生活が継続できるよう支援する。

○定期的なケアカンファレンスによる情報共有と計画書に沿ったケアの実践。

デイサービスに移行してからは定期的なケアカンファレンスはできていないが、個々の利用者の情報共有に努め、個別性のある計画書の作成とケアの実践に取り組むことができた。

○ケアマネジャーへの定期的な情報の提供（日常生活上の留意点、介護の工夫）

月1回の経過報告書や居宅事業所訪問、電話などでデイでの状況を報告し対応について検討、在宅生活の継続に努めた。

○「自己選択」「自己決定」ができ、自主性・主体性を引き出す環境作りを行う。

デイでの作業活動などの場面で、利用者が自分で選んで決めることで自主性、主体性に働きかけてきたが、まだ職員の意識が不十分なところがある。

(3) 安全、安心な環境を提供する。

○ヒヤリ・ハットの原因分析を行い危機管理に対



する意識の向上を図り、転倒などの事故を未然に防ぐ。

利用者の情報を報連相ノートで共有し、事故を未然に防ぐことができた。転倒事故はなかった。

○家族とのコミュニケーションを深め、相互間で情報共有していく。

送迎時や担当者会の参加により情報交換できた。

(4) 他事業所との連携強化

○ケアマネジャーへの定期的な報告を行い、情報共有する。

月1回の経過報告書と、新規利用者は初回利用時にデイでの状況をその日のうちに報告することで情報共有に努めた。

○事業所研修などに参加し、情報交換を行う。

東部地域の主催の研修には日程の都合で出席できなかったが、今後は積極的に参加し、各事業所と情報交換をして「いちご学校」のPR活動をしていきたい。

3 今後の課題

①地域活動への参加、1階スペースの有効活用で地域住民との交流を図り、地域に根ざした事業所運営を目指す。

②居宅ケアマネや地域へのパンフレット配布などPR活動を強化し、新規利用者を獲得していく。

③利用者のニーズに柔軟に対応できる職員の体制作り。

(文責：看護師 野口 優子)



サービス付き高齢者向け住宅「イチゴいちえ」

①概要

管 理 者：藤崎 明美

構成職員：日勤、夜勤兼務 5名

合計人数 5名

②活動内容、目標に対する達成状況

平成28年4月午前8時40分頃隣家より出火し、東部グループ職員が一丸となり入居者全員を安全な場所に避難させることができた。また、12月に「いちご学校」と「イチゴいちえ」の入居者さんと合同で避難訓練を実施した。入居者さんの防災意識の高さに驚かされた。

(1) 安全安心で健やかな生活が維持できるよう各医療機関と連携を図りながら支援する。

○開設当初から入居されていた方で、日常生活動作の自立が図れていた方も、8年もの年月が経過したため、認知症が重度になったり、骨折や慢性疾患悪化に伴い、入院後退去された方が多数いた。また、平成28年9月末に、ほそぎ東部クリニックが閉院したことで、入居中の方から不安の声が多々聞かれたが、統括責任者の看護師長指示のもと、各医療機関との連携を密に行い、安心安全な生活支援をするように努めた。

(2) 入居者の人権を尊重し、接遇マナーに取り組み、「イチゴいちえ」のイメージアップに努める。

○電話対応や接遇マナーに各人取り組んできたが、入居者さんより接遇面でクレームがあったので、今後も継続して取り組み改善していく。

(3) 連絡ノートを活用し、職員間の情報交換を密にする。

○各職員、出勤してきたら必ず連絡ノート、ホワイトボードに目を通し、口頭でも申し送りを行



い、その日の勤務者が困らないように情報交換ができた。

(4) 短期入所の利用もPRし稼働率をアップさせる。

○ショートステイの相談を受けたケアマネジャーの口コミで、ショートの相談、見学に来られても、部屋に備品がなくて断られたケースが多々あった。平成28年10月に、ベッド、布団一式、テレビ、冷蔵庫などの備品をそろえ、利用してくれる方も増えつつある。

③今後の課題

○地域包括支援センターや医療機関などへ広報活動を引き続き行い、新規入居者獲得に取り組み、稼働率、収益率の向上につなげたい。

○入居者の高齢化に伴う重度化予防のため、看護師と相談しながら、生活を見守り健康管理を行いたい。

○介良地域の方と一緒に避難訓練を行い、津波避難ビルとしての知名度をあげる。

(文責：管理者 藤崎 明美)

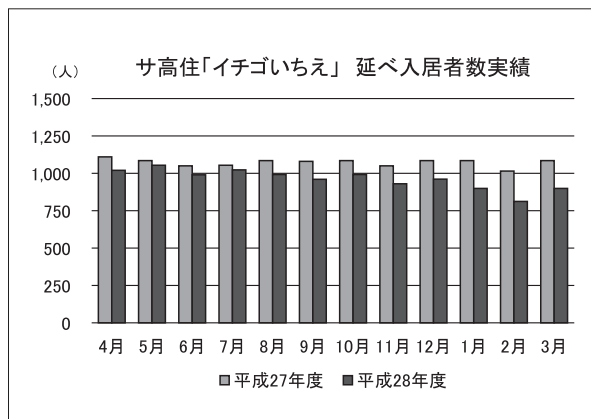
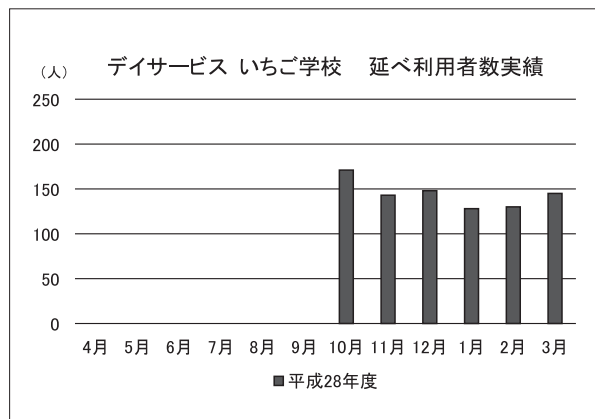
東部グループ

■ デイサービス いちご学校 業務実績 定員：14人

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
営業日数	—	—	—	—	—	—	26	26	26	24	24	27	25.5
延べ利用者数	—	—	—	—	—	—	171	143	148	128	130	145	144
1日平均利用者数	—	—	—	—	—	—	6.6	5.5	5.7	5.3	5.4	5.4	5.6
利用率	—	—	—	—	—	—	47.0	39.3	40.7	38.1	38.7	38.4	40.3

■ サービス付き高齢者向け住宅「イチゴいちえ」 業務実績 部屋数：39室

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
延べ入居者数	1,020	1,054	990	1,023	992	960	992	930	961	899	812	899	961
1日平均入居者数	34.0	34.0	33.0	33.0	32.0	32.0	32.0	31.0	31.0	29.0	29.0	29.0	31.6
入居率	87.2	87.2	84.6	84.6	82.1	82.1	82.1	79.5	79.5	74.4	74.4	74.4	81.0



ほそぎ東部クリニック閉院のお知らせ

平成18年2月以来、微力ながら地域の医療貢献のために頑張ってきました「ほそぎ東部クリニック」は、平成28年9月末日をもって閉院いたしました。通院患者様および近隣の皆様には大変ご不自由をおかけいたしますが、どうかご了承のほどお願い申し上げます。

なお、通所リハビリテーション「デイケアいちご学校」は、10月1日よりデイサービスとして新たにスタートしております。サービス付き高齢者向け住宅「イチゴいちえ」とともに今後ともお付き合いをよろしくお願いいたします。

通院患者様とご家族の皆様、地域の皆様に感謝しつつ閉院のご挨拶といたします。

社会医療法人仁生会 理事長 細木 秀美

部署責任者一覧

平成29年 3 月31日現在

理事長	細 木 秀 美
本部長	細 木 膺 子
経営管理部	
部長兼経営管理課長	門 脇 弘 幸
危機管理担当顧問	壬 生 澄 雄
財務課長	石 元 恵 津
人事部	
部長	金 子 忠 司
看護相談室長（兼務）	豊 田 邦 江
東部グループ	
いちご学校管理者	上 西 恵美子
イチゴいちえ管理者	藤 崎 明 美

職員数一覧

平成29年 3 月31日現在

本部	2
経営管理部	6
人事部	7 (2)
計	15 (2)
いちご学校	11
イチゴいちえ	5
計	16

() は他施設との兼務者内数

委員会

平成29年 3 月31日現在

仁生会定例会
本部運営会
院長WEB会議
仁生会事務連絡会
仁生会在宅部門連絡会
さくら会（看護部会）
相栄会

仁生会委員会
人事制度検討委員会
仁生会教育委員会
仁生会広報委員会
仁生会年報編集委員会

▶業績一覧（2016年 4 月 1 日～2017年 3 月31日）

■ 理事長

□ 誌上発表（論文・著作・寄稿）

1. 細木秀美：「父の手紙」、高知大学医学部 外科学講座 外科第一「楷風」第11号、P30－31、2016年
2. 細木秀美：「フレイル予防」、日本病院会雑誌 銷夏随筆7号 Vol.63 NO.7、2016年7月

■ 人事部

□ 講演（講習会を含む）

1. 金子忠司：「働き方・休み方改革」とワーク・ライフ・バランスセミナー、高知県・高知労働局、高知市、2016年11月18日

□ パネルディスカッション

1. 西田江見：「高知家出会い・結婚・子育て応援フォーラム（高知家は、ひとつの大家族やき、みんなが応援団）」、高知県少子化対策推進県民会議、高知市、2016年11月20日